



やまがた 議会だより

平成30年10月

No. 126

発行 〒390-1301 長野県山形村議会（代表 三澤一男）
編集 議会広報編集特別委員会 TEL0263-98-3111 FAX0263-98-3078



（8月26日 第4回山形村長杯マレットゴルフ大会）

12年を迎えた なろう原公園マレットゴルフ場

なろう原公園マレットゴルフ場は、松本平を眼下に見下ろす美しい眺望と誰もが楽しめるコースレイアウトとなっています。家族・友人・ご近所さんとのコミュニケーション創りにお気軽にご利用ください。

- | | |
|----------------------|----------------|
| ■第3回議会定例会 ……………2 | ■一般質問 ……………4～7 |
| ■主な議案 29年度決算概要 ……2～3 | ■私の一言 ……………8 |
| ■東筑摩郡村議会議員大会 ……………3 | ■議会日誌 ……………8 |

平成30年 第3回議会定例会

平成29年度決算を認定

第3回定例会を9月4日に開会し、14日まで11日間開催した。
平成29年度会計決算7件の認定など、17件を審議のうえ可決した。
請願2件、陳情1件が提出され常任委員会に付託され、請願1件
陳情1件採択のうえ、国・県へ意見書を提出した。
一般質問は9人が登壇し、6日に村政全般について質問を行なった。

認 定

- 平成29年度山形村一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成29年度山形村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成29年度山形村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成29年度山形村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成29年度山形村清水高原簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成29年度山形村水道事業会計決算認定について
- 平成29年度山形村下水道事業会計決算認定について

議 案

- 平成30年度山形村一般会計補正予算（第3号）
- 平成30年度介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 報 告**
 - 平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について
- 同 意**
 - 固定資産審査委員の選任上條 勝氏（下竹田）
 - 教育委員の任命 大角 則夫氏（中大池）
- 諮 問**
 - 人権擁護委員候補者の推薦上條 智子氏（下竹田）



主な事業等補正予算

総務費

○空き家等対策推進事業
3百万円

民生費

○民間保育所運営費等
百3万6千円

農林水産業費

○産地パワーアップ事業
7百50万5千円

商工費

○観光パンフレットデザイン作成委託料
32万4千円

土木費

○公園支障木伐採剪定工事
百6万3千円
○道路舗装整備等工事
5百31万5千円

（請願・陳情）

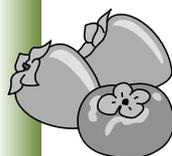
『国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書』
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に提出
『私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書』
内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、県知事に提出

総務産業常任委員会 活動報告

7月10日 長野県企業局松塩水道用水管理事務所、奈良井ダム
など上水道施設の視察、村内の水道施設、下水道終末施設の確認を行なった

福祉文教常任委員会 活動報告

7月12日 山形小学校視察 地産地消・安心安全な給食試食会
（長野県学校給食優良学校として県教育委員会から表彰を受けた）、わくわくクラブ視察など



《歳出》34億326万円に 1億5,443万円の黒字決算

平成29年度 各会計の決算概要

(単位:千円)

区分	歳入	歳出	差引額	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計	3,557,706	3,403,269	154,437	1,836	152,601
国民健康保険特別会計	1,159,105	1,114,557	44,548	単年度	12,285
後期高齢者医療特別会計	702,705	71,916	789		789
介護保険特別会計	748,696	724,777	23,919		23,919
清水高原簡易水道特別会計	54,095	52,827	1,268		1,268

○水道事業概要

損益計算書

収 益	費 用	純 利 益	前年度利益剰余金	当年度利益剰余金	
206,439	165,625	40,814	37,541	78,355	
			建設改良積立金	▲ 50,000	
			処分後残高	28,355	
資本的収支	収 入 額	支 出 額	差引不足額	過年度分損益勘定保留資金	差し引き額
	564	41,757	41,193	40,495	▲ 698
*主な事業	唐沢浄水場ろ材入替工事、唐沢浄水場門扉改修、排水管布設工事、テレメーター更新工事、消火栓新設一基、検漏メーター			消費税資本的収支調整額で補填	698
					0

○下水道事業概要

損益計算書

収 益	費 用	純 利 益	前年度利益剰余金	当年度利益剰余金	
432,380	403,139	29,241	51,726	80,967	
資本的収支	収 入 額	支 出 額	差引不足額	過年度分損益勘定保留資金	差し引き額
	176,010	327,807	151,797	18,344	▲ 133,453
			当年度分損益勘定保留資金	126,738	▲ 6,715
*主な事業	処理場建設改良 (国庫補助事業)平成29年度山形村特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事など			消費税資本的収支調整額で補填	6,715
					0

県道25号線 (塩尻鍋割穂高線)

上竹田地区の歩道新設早期完了を

交通安全、地域のインフラとして、住民の切望を強く要望

8月23日開催 第69回東筑摩郡村議会議員大会

東筑摩郡議員大会において県への要望書を提出した。

あと3年余りで「からさわ亭」まで完成し、今後は村と相談し竹田バイパスを要望する予定。

県道25号線は、日本アルプスサラダ街道の一部として観光ルートになっている。また、地域住民の大動脈となっているばかりでなく、長野県地域防災計画における「震災対策緊急輸送路」にも指定されている重要な路線だ。道路の線形不良や坂道で道路幅も狭く、狭あい部分においては大型車とのすれ違いが困難で歩道も整備されていないため、過去には交通死亡事故もあり大変危険な状態が続いた。

村としても長年の懸案事項となっていたが、県関係者の努力により「防災・安全交付金事業」が採択され、歩道幅員2メートルを含む全幅9メートル余りになる事業が進行中で、地元として大変うれしいことである。

今年度は、昨年度の続きの部分、延長80メートルの工事と調査、設計業務を実施予定と聞いている。

村、地域住民の切望である「交通安全対策」が一日も早く完了するよう要望し、地域のインフラとしての役割を十分発揮できるように、早期完了を強く要望した。

百瀬 章



〈県道25号線 四ツ谷地区〉

そこが聞きたい

一般質問

9月議会
定例会
一般質問
9名

地域コミュニティについて



春日 仁 議員

村長

小さな農村が維持してきたコミュニティの在り方の変革を感じている

Q

「山形村の地域コミュニティに関する検討委員会」の進捗状況は、その中でどのように考えているか。

A

昨年度は3回の会議と先進地視察を実施した。本年度は2回の会議を開催している。連絡班の統合や編成など、具体的な可能性について取り組みをされる中、意見や提案は具体的な検討をし、手の付けられる所から取り組んでいきたい。また、役員負担の対策や各種団体・組織との協議も並行して進めていきたい。

子どもの安心・安全を

災害時の通園、通学時の危険個所の把握と対策は。

A

ブロック塀に対する安全点検の実施と適合しないブロック塀の撤去・改修に向け啓発運動が必要と考えている。

Q

通学路にある伝承館の耐震問題と今後どのように考えているか。

A

伝承館の新たな在り方の研究を進めるが、具体的な整備内容はない。通学路の安全対策はしっかりやる。

Q

保育園、小学校での猛暑対策と今後の取り組みは。

A

それぞれこまめな水分補給を中心到的確な対策を心掛けた。今後は、保育園全室のエアコン整備の検討、小学校では夏休みの日数などの検討、エアコンについても研究を進める。



〈対策が急がれるふるさと伝承館〉

ハザードマップの

更新は何時行なうか



竹野入 恒夫 議員

村長

来年6月頃には新しいハザードマップを全戸配布する予定

Q

山形村ハザードマップ(二〇〇八年2月27日更新)の土砂災害防止法(土砂災害の恐れのある区域について示すもの)に基づく作成は何時更新するのか。

A

土砂災害警戒地区は、県では概ね5年ごとに見直しをしている。平成23年に見直しがあり、松本波田地区での指定により、村内で指定されている地区との重複があり、地域の変更がなかった為、ホームページの変更をしなかった。細部が見にくく避難施設等も掲載されていないことから見直しをする必要がある。県は平成30年度に土砂災害警戒区域の見直しを行なっている。山形村においても、新たに11

〈ピアやまがたの西側傾斜〉
急傾斜地崩壊危険区域
平成24年11月29日県告示



箇所急傾斜の崩壊区域が追加された。

来年の1月に地元説明会を行ない、年度末には指定の告示を行なう予定である。平成31年6月頃には新しいハザードマップの全戸配布とホームページにも見やすいよう掲載する予定。

その他、地域づくり実施計画について質問した。

地震総合防災訓練と 発災時対応の検証



三澤一男議員

村長 村は災害対策基本法に基づき対処している

Q 本村に甚大な被害が想定される地震災害をはじめとして、台風や豪雨災害が各地で頻発している。村における要支援者の確認はどのようにやっているか。

A 村は、災害が発生し、又は災害が発生する恐れがある場合に、自ら避難が困難な方の把握を行なっている。

今回行なわれた訓練でも区長・連絡長・消防分団長・民生児童委員に事前提供し、「避難行動要支援者名簿」に基づいて、避難状況について安否確認訓練を実施した。

Q 関係諸団体との調整はどのようになっていくか。

A 訓練時は各地区の自主防災会で関係団体と調整し、地区ごとの訓練を実施した。実

際の災害時にも関係団体と連携を図り、各々団体の力を十分に発揮できる様に協力体制づくりを進める。

Q コミュニティ、連絡班未加入者の確認方法は。

A 災害時、「公助」である役場の対応や警察・消防による救助やより大きな災害発生時には支援がどうしても間に合わないことが想定されるが、訓練では避難場所に報告をするよう周知をした。

再質問では、連絡班未加入世帯把握の必要性を問うた。

その他、ガン検診に有効なリスク健診を補助対象にできないか、食のセーフティネットの構築について質問した。



〈地震総合訓練の様子〉

山形村におけるゴミ処理対策は



小出敏裕議員

村長 村の有価資源物還元金は全額が塵芥処理費の財源

Q ゴミ処理手数料の算定基準はどのようになっていくか。

A ゴミ処理手数料の一部として、ゴミ袋代金としている。平成18年より20年度にかけて毎年9円ずつゴミ袋を値上げ、平成26年度に村民の要望により値下げをし、現在の価格になっている。

Q 今後は処理手数料の値上げはあるのか。また、高齢者・障がい者等への免責はどのようになるか。

A 消費税増税による材料費の値上げが生じた場合等には、増税分の検討が必要と考えられる。

社会弱者に対しては可燃ごみのゴミ袋支給事業を平成26年度から実施している。これは、現在も継続している。

Q 3R運動の取り組みと小型家電の回収実績はどのよう



〈小型家電回収ボックス〉

うにどのようになっていくか。

A 環境省が10月を3R運動推進月間と位置付けており、山形村もこの運動の啓発に努める。

小型家電の回収実績は平成29年度約3・7トンでした。

Q 村の公的機関から排出される資源ごみの量と処理方法はどのようになっていくか。

A 年間の紙類の総量は、段ボール4・3トン、新聞1・3トン、雑誌類8トンとなっている。

処理は全量、障がい者の就労支援多機能型事業所や知的障がい者育成会の障がい福祉サービス事業所などが回収、選別や圧縮を行ない、リサイクル事業者に運搬・搬送している。

Q ゴミの回収による収益及びその用途は。

A 村の有価資源物還元金は全額が塵芥処理費の財源となっている。平成29年度決算では28万4千2百20円。

山形村の 景観を守るために



小林 幸司 議員

村長 県の景観条例に準じて指導・対応している

Q 近年、山林での樹木の伐採により裸地状態になっている箇所が見受けられるが、現状・今後はどうなっていくか。

A 山林所有者から伐採届の提出があり、伐採は2・68ヘクタールになり、樹種はナラ、アカシヤ、サクラなどである。樹木の伐採は完了しており、これからは自然更新による森林再生を図ることとなる。

農業振興について

Q 今後5〜10年の山形村の農業の実態と予測は。

A 2015年農業センサスの結果から販売農家数383戸に対して、従事者年齢は65歳以上57%、75歳以上26%を占めている。

5〜10年後は村内各地に空き農地も増えていくと予測する。

今後は新規就農者への補助金を活用して、遊休荒地地解消対策事業として関係機関と連携しながら取り組んでいく。
その他、県営畑地総合整備事業の進捗状況・畝灌地域の更新、消防団の設備と人員確保について質問した。



（山形村の圃場）
山林をバックに圃場は収穫を控えて準備が進んでいます

教育（保育）施設の 猛暑対策は



大月 民夫 議員

教育長 山形保育園は全室のエアコン設置を検討する

Q 温暖化の影響か、年々夏の暑さが厳しさを増している。園児・児童の健康維持を最優先に据えた環境整備が緊急性を帯びてきた。
現状のエアコン設置状況はどうなっているか。

A 山形保育園は保育室15室内の6室が未設置。山形小学校は全室未設置です。
Q 今シーズンに熱中症と思われる発症事例はどのくらいあったか。

A どれも軽度ではあったが、保育園では1人、小学校では28人の発症が確認された。
Q 猛暑における、園外活動や郊外活動の取り扱い、どのようにしたか。

A 予想気温や熱中症指数、園児・児童の健康状態など



〈6年目を迎えた山形保育園舎〉

を見て、関係者で協議し、延期・中止の判断をしている。

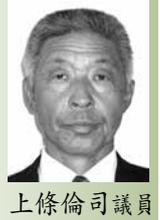
Q 今年の猛暑状況を鑑み、今後の対応策はどのように考えているか。

A 山形保育園の保育室すべてにエアコン設置を検討する。

小学校も夏休みの日数を増やすなどを検討し、併せて普通教室へのエアコン設置の研究も進めていきたい。

その他、「緊急通報」の周知徹底手法の現況と展望について質問した。

山形村の農業の現状について



上條倫司 議員

村長 農産物の販売ルート多様化時代の中、生産者の販売計画等が重要

Q 山形村の農地は火山灰土壌、内陸性気候の乾燥地帯で水がないと作物は成長しない。

近年の温暖化により、特に今年は異常気象で雨が少なかった。そんな中、先人が築いた畑地灌がい施設に感謝したい。

山形村は、関係団体の協力のもと農業を中心とした村づくりをしてきた。

しかし、近年は農産物の販売ルートの多様

山形村公共施設等 総合管理計画の 対応状況は



百瀬昇一 議員

村長 個別施設計画の前提として、公共施設再配置計画を作成

Q 総務省の指針により、固定資産台帳および備品台帳の管理はしているか。

A 公有資産台帳を基に、平成27年・28年の2年間で固定資産台帳は整備し、備品台帳は紙ベースで管理していたが、平成24年に台帳システムを導入のうえ、管理をしている。

化が、特に山形村特産の長芋に顕著にみられるようになってきた。生産者利益の確保をどう考えるか。

A 農産物の販売方法の多様化は承知しているが、生産者の選択肢であり、対策などは困難である。生産者の販売計画等が益々重要となってきたと認識している。

山形村の特産品長芋は大事にしていきたい。



〈灌水施設と長芋畑〉

Q 一番古い施設、ふるさと伝承館はどうするのか。

A 早急に建て直し等の検討が必要、ふるさと伝承館、福祉の家、小坂本殿寄贈の倉庫の3施設は、危険性の観点から優先的に手を加える必要があると考えている。

Q この計画は議会、村民との情報及び現状認識の共有をどのように進めたか。

A 議会へは28年12月に計画を示したうえで進め、また村民へは計画の段階、計画策定後もホームページに掲載の上、対応している。

その他、地域自治組織に支援・助成を他について質問した。

清水高原の活性化を問う



百瀬 章 議員

村長 現在、清水寺への来訪者を増やすために積極的に行なっている施策はない

Q スカイランドきよみずの利用者を増やすための具体的な施策は。

A 村民宿泊者助成制度については、毎年2百30人前後が利用している。平成29年度より助成金を千円上乘せし5千円としたが、利用者は減少している。宿泊者が要件となっているが、日帰りでも利用できるように検討する。

Q 別荘利用者の今後の利用に対する、清水高原保養施設管理組合の対応及び施策は。

A 利用者から要望の聞き取りはしていない。管理組合の総会の席で「人が訪れる場所にもっと清水高原のPRを」「人が来ることに抵抗がある」という意見があった。定住者なのか、利用者なのか、違いがある。そんな中、必要に応じた対応をしたい。

Q 清水寺を活用し、来訪者を増やす施策は。

A 観光資源が乏しい山形村では、清水寺は貴重な観光資源である。今後、観光協会で立ち上げた研究会の報告等を受けて検討していく。



〈清水寺の仁王門〉

私の一言

村の強い支えを

消防分団へ



平沢 友希

(中大池)

消防団員として15年。

入団したころは何もわからず、先輩たちに沢山のことを教えていただきました。

今は班長として、若い子たちと関わることにより年齢層も広がり、地域とのつながりも増えました。

今年で消防団員としては終わりになりますが、今頑張っている彼らと共に、今後協力してくれる若者が増えていくことを切に望みます。

そして、村も一緒に支えてもらえたら、より良い村・消防団となると思います。

地域社会との繋がり



内田 智恵子

(下大池)

結婚を機に山形村に家を建てて20年近くになります。

仕事と子育てに追われる生活の中、私は4年前に病気になり大きな手術をしました。

仕事を休み実家での療養となりましたが、その年は常会の役を引き受けていました。年度途中で他の方が引き継いでくださり、その方には感謝の気持ちでいっぱいです。

今の生活に戻れたのは、家族は勿論ですが地域の方の協力があったからこそ。

これからの生活は、少子高齢化、働き方の多様化など益々進みます。時代に合った地域社会との繋がりをもち、私が協力をお願いしたように、私もできる限り地域への協力ができればと思います。

議会目録

《7月》

- 10日 総務産業常任委員会
- 12日 福祉文教常任委員会
- 13日 議会広報編集特別委員会
- 18日 定例議会全員協議会
- 20日 議会広報編集特別委員会
町村議会議員研修会

《8月》

- 20日 総務産業常任委員会
- 福祉文教常任委員会
- 23日 定例議会全員協議会
- 29日 東筑摩郡村議会議員大会
議会運営委員会

《9月》

- 4日 山形村議会定例会本会議
議会全員協議会
- 6日 山形村議会定例会
一般質問
- 10日 議会全員協議会
決算説明
議会運営委員会
- 11日 総務産業常任委員会
- 12日 福祉文教常任委員会
- 14日 山形村議会定例会本会議
議会全員協議会
- 28日 東筑摩郡村議会議員
交流会

旬の味



異常に短かった梅雨の後、連日のように続いた猛暑と雨がほとんど降らなかった日が続き、農家の皆さんなどは、やきもきしながら過ごした最近の天候。世界的な温暖化のせいなのか異常気象が異常でなくなってしまう地球。猛暑の後の豪雨災害、地震災害と自然の力に翻弄された。

幸い山形村では大きな被害もなく安どしている。しかし、大災害は何時やってくるか予測は難しい。災害に対して、少しでも被害が少なくて済むように、日頃から手立てを施しながら、暮らしていくしかないのだろうかと思しながら毎日をすごしている。

新居 禎三

休日議会（一般質問）

期日 12月9日（日曜日）

於 役場二階 議場

傍聴にお出かけください

村民の皆さんに開かれた議会を目指す第一歩としてスタートしました。「休日議会」は3年目を迎えます。当日のスケジュール並びに質問事項は確定次第、ご案内します。

議会運営委員長 大月 民夫